

入学検討者向けイベント開催時における
新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

専門学校日本ホテルスクール
広報部 入学相談室

本ガイドラインは、入学検討者向けイベント（以下、イベント）の参加者および在校生、教職員全員を新型コロナウイルス感染のリスクから守るために策定したものであり、本ガイドラインに基づく感染防止対策を講じた上でイベントを実施することとする。

また、今後の感染状況を踏まえて、本ガイドラインは、随時見直しを行うこととする。

1、校内におけるリスク評価

イベントは予約制のため、予め参加者が特定されていること、来校時間が限定されているが、イベント内容に応じて、新型コロナウイルス感染症の主な感染経路である接触感染と飛沫感染について、参加者やスタッフの導線や接触を考慮したリスク評価を行い、そのリスクに応じた対策を検討する。

校内において想定されるリスクは次の通り。

「接触感染」

共有部分：テーブル・椅子・EVのボタン・トイレ等

教室：ドアノブ・机・椅子・電源等のスイッチ等

備品：（体験授業で使用する）お皿・グラス・シルバー・その他備品等

「飛沫感染」

共有部分：参加者による密集時（移動時）の人と人の距離

教室：換気の状態、座席の配慮、混雑

2、感染防止対策

「共通」

- ・日頃より在校生、教職員は、手洗い・うがい・マスク着用や咳エチケット等の基本的な予防策の徹底、および免疫力を高めるために十分な睡眠、適度な運動とバランスの良い食事の摂取を心がける。
- ・参加者は発熱の症状や体調に不安がある場合、無理せず参加をお控えいただく。在校生、教職員も同様に無理せず参加しない。
- ・入館の際にサーマルカメラまたは非接触型体温計で参加者の体温を確認する。検温の結果、37.5℃以上の発熱、または平熱より1℃以上高い場合、一旦、アネックス棟1階ロビーで待機して様子を見ていただくか（暑さで一時的に体温上昇の可能性あり）、入館をお断りさせていただく。
- ・密集、密接防止のため、1階受付カウンターでチェックイン手続きは行わず、名前の確認のみを行う。
- ・チェックイン手続きは全体会場で個別に行い、レジストレーションカードに入館時に計測した体温を記入していただく。回収したレジストレーションカードは、向こう2週間保管

することとする。

- ・参加者へマスク着用をお願いをする。在校生、教職員もマスク着用で対応する。
- ・玄関・EV ホール・各階トイレ・使用教室（場所）にアルコール消毒液（除菌ハンドジェル）を設置し、入館時他、適宜利用をお願いをする。
- ・うがい・手洗いの励行をお願いする。
- ・感染防止のため、参加者が密にならないようスタッフが誘導等を行う。
- ・EV 利用時は1組限定とする。
- ・接触感染防止のため、共有部分、教室、備品の清拭消毒を徹底する。
- ・授業間や休憩時、移動時など、インターバルが発生する際に換気、および清拭消毒を徹底する。

「全体会場（分科会会場）」

- ・接触感染防止のため、除菌ペーパー等を利用して、机や椅子の清拭消毒をする。
 - ・飛沫感染防止のため、座席1列目は利用しない。
 - ・大教室を利用して、十分な間隔（※）を取った座席配置とする。ただし、使用教室は参加人数に応じて中教室等へ変更する場合があるが、同様に十分な間隔を取った座席配置とする。
 - ・ウェルカムドリンクは、従来のサービス形式より、ペットボトル対応（1人1本）とする。
 - ・参加者退室後、机や椅子の清拭消毒、および換気を徹底する。
 - ・参加者の座席位置を専用用紙に記録して、向こう2週間保管することとする。
- （※）「十分な間隔」とは、前後左右、1卓開けての座席配置。

「体験授業会場」

- ・接触感染防止のため、除菌ペーパー等を利用して、机や椅子の清拭消毒をする。
- ・3密とならないように参加人数をコントロール。座席の間隔は、飛沫感染が防げる十分な間隔（※）を開ける。
- ・学内において飲食を伴う授業は実施する場合、感染対策を遵守し教職員の十分な指導管理の下、万全の態勢で実施することとする。
- ・大声を発する授業は行わない。
- ・備品を使用する授業は、授業前に必ず手指の消毒をする。
- ・マイクは使用の都度、消毒または差し替えを行う。
- ・使用する備品（お皿・グラス・シルバー類他）は使用前の消毒、使用後の消毒を徹底する。また、同じ備品を消毒することなく、次の授業にも続けて利用することは厳禁とする。
- ・授業間では換気を徹底する。
- ・体験授業は選択制のため、授業ごとに参加者名の確認を行い、参加者名簿は向こう2週間保管することとする。

(※)「十分な間隔」とは、1m以上（可能なら2m以上）を目安とし、少なくとも隣の席とは1席程度の間隔をあけた座席配置。

「個別相談会場」「フリートーク会場」

- ・ 接触感染防止のため、除菌ペーパー等を利用して、机や椅子の清拭消毒をする。
- ・ 十分な間隔（※）を取った座席配置とする。
- ・ 相談終了後、その都度机と椅子の清拭消毒をする。

(※)「十分な間隔」とは、相談ブースを2m以上の間隔をあけて配置。

(※) フリートークの「十分な間隔」は1m以上とし、可能なら2m以上も意識する。

「ロビー・7F・EV」

- ・ テーブル、ソファ、ドアノブ、EV ボタン等、多数の者が触れる可能性のある個所は、定期的に清拭消毒をする。

「トイレ」

- ・ ドアノブ、蛇口、手洗いシンク等は、定期的に清拭消毒をする。
- ・ ハンドドライヤーは使用せず、ペーパータオルを設置する。
- ・ 手洗いシンクにはハンドソープ、アルコール消毒液（除菌ハンドジェル）を設置。

「清掃・消毒」

- ・ 多数の者が触れる可能性のある個所については、事前の清拭消毒、およびイベント開催中は定期的に清拭消毒をする。
- ・ 特にトイレ内（便器、洗面台、ゴミ箱）の状態は定期的にチェック（必要であれば清掃）を行う。
- ・ 7階、6・5階の廊下、4階バーカウンター内にある流しは使用禁止とする。

「在校生休憩場所」

- ・ 一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話をしないようにする。
- ・ 休憩スペースは常時換気が望ましい。
- ・ 共有する物品（テーブル、椅子等）は、定期的に清拭消毒をする。
- ・ 入退室の前後に手洗い、手指消毒などをする。

「スタッフ（在校生・教職員）」

- ・ 検温、体調確認を徹底し、体調不良者については、他者と接触することのないように、自宅静養の措置を取る。
- ・ マスク着用、手洗い、手指消毒を徹底する。

「ゴミの廃棄」

- ・鼻水、唾液などのゴミ、弁当の空き容器は、ビニール袋に入れて密閉して縛る。
- ・マスクや（清掃時の）ゴム手袋を脱いだ後は、必ずハンドソープと流水で手を洗い、手指消毒をする。

「打ち合わせ」

- ・特に在校生との打ち合わせにおいては、基本的にイベント開催当日に行うが、在校生の参加人数によっては3密を避けるため、事前にオンラインで行う場合もある。

「その他」

- ・ホテルなどの外部施設でイベントを開催する際に飲食を提供する必要があるが、施設の感染対策を遵守しスタッフの十分な指導管理の下、万全の態勢で提供することとする。

以上

令和2年6月01日 初版

令和3年3月22日 一部改定

令和3年9月17日 一部改定

令和3年12月19日 一部改定